

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。
(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)



AEDで救える命を増やすための対策を

酒井 英男（健政会）



録画配信の
2次元コード

◆24時間使用可能な場所に設置を

24時間営業の店舗や公共施設の屋外にAEDを設置する考えは。

健康推進部長 24時間営業しているコンビニエンスストアなど民間施設と連携し設置の拡充を図ることは効果的な取組であり、先進市の取組を参考に消防機関などとも連携しながら普及促進に取り組んでいく。

屋外の設置に要する経費や維持管理費、効果的な設置場所、破損、盗難への対応などについて調査研究し、地域における設置状況とのバランスなどを考慮のうえ検討していく。

◆AEDの適正配置

周囲に公共施設がなく民間のAEDも少ない

地域の対応は。

健康推進部長 日本救急医療財団のAEDの適正配置に関するガイドラインを参考に、適正な配置について民間事業者への協力要請も検討していく。

◆貸出用AEDの利用状況

市が保有する貸出用AED2台の実績は。

健康推進部長 令和5年度の貸出件数は2月末現在で20件、4年度は16件であり、主に学校のマラソン大会や自治会のイベント時に活用されている。



AEDの設置を示すマーク

その他のテーマ▶ 子育て支援講座
▶ 家庭教育講座・講演会



日本型社会福祉の維持は、未来の子どもたちに託されている

千葉 良秋（健政会）



録画配信の
2次元コード

①保育園、幼稚園から大学までに至る子どもへの各種支援のうち、高校生、大学生に対する負担軽減施策はどのようなものがあるのか。

②第2期狭山市子ども・子育て支援事業計画は令和6年度までとなっているが、これまでの進捗と評価は。

③児童手当の拡充、自営業・フリーランスの育児期間中の年金保険料減免に向けた取り組みは。

福祉部長 ①生活困窮世帯などを対象とした学習・生活支援事業を利用している子どもが、大学に入学する際に入学準備金として10万円、入学後一定の成績を収めた場合には進級時に5万円を支給し、負担軽減を図っている。また、6年度からは、大学などの受験料について、53,000円

を限度に補助し、更なる負担軽減を図っていく。

こども支援部長 ②第2期計画は、公的サービスのみならず、地域住民と関係団体や事業者が連携して支援する地域共生社会の実現を目指しており、こども未来戦略の基本理念に通じるものである。進捗と評価については「子ども・子育て支援法」に基づく事業について、概ね目標を達成している。

③国の制度改正により、児童手当については、6年10月分から所得制限の撤廃、支給期間の延長、第3子以降の増額などが図られることとなっており、年金保険料の減免については、8年度からの実施を目指している。



こどもまんなか社会の実現に向けて

その他のテーマ▶ 本市における少子化の現状 ▶ 妊娠から出産、子育ての支援 ▶ 就労と所得向上への取り組み



一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



子育て支援拠点施設を、新狭山地域に

衣川 千代子（日本共産党）



録画配信の
2次元コード

◆新狭山地域に児童館を！

①新狭山地域に2棟のマンションや戸建てが建設され、子育て世代が増えている。新狭山保育所の入所児童数と待機児童数は。

②市内にある児童館のコロナ前(平成30年度)における年間利用者数は。

③新狭山保育所は待機児童が出ており、児童館は多くの子どもや保護者の利用がある。第3期子ども・子育て支援事業計画に、新狭山地域に保育所や子育てプレースを併設した児童館を含む子育て支援施設を新設することを盛り込んで欲しいが考えは。

こども支援部長 ①新狭山保育所の各年4月1日時点の入所児童数は、令和4年度は68人、5年度は70人である。待機児童数は、4年3月1

日時点は5人、5年3月1日時点は2人である。
②中央児童館は、子育てプレースとプラネタリウムの利用者も含め、4万2,003人、狭山台児童館は、2万9,499人、広瀬児童館は、子育てプレースの利用者も含め、2万4,892人、水野児童館は、子育てプレースの利用者も含め、3万5,750人である。
③今後の子育て支援拠点施設の整備については、市内全域における施設の配置バランスや地域の人口動態及びニーズなどを踏まえて判断していく。



広瀬児童館

その他のテーマ▶ 新狭山保育所の避難所



「地域公共交通活性化協議会」の議論充実を！

関根 弘樹（公明党）



録画配信の
2次元コード

◆協議会委員の多様性を課題解決に活かせ！

狭山市の公共交通について「地域公共交通活性化協議会」で議論をすることのメリットは。

市民部長 公共交通に関わる様々な立場の方々が一堂に会して協議することで、公共交通に関わる課題が共通理解として捉えられ、課題解決のための協調行動を話し合うことができる。

◆分科会の設置など、活発な議論ができる工夫を！

「地域公共交通活性化協議会」では、より詳細な議論をする場として分科会などを設置しているか。

市民部長 現在、分科会はないが、今後「運賃協議分科会」を設置する予定。その他の分科会についても地域公共交通計画を策定して具体的に実施

をする段階では、必要になることも想定されるため検討する。

◆情報発信とともに、出前講座などで市民と双方向のコミュニケーションを！

「地域公共交通活性化協議会」の目的である「地域公共交通計画」の策定状況や公共交通に対する行政の考えを市民に説明する場を望むが見解は。

市民部長 地域公共交通活性化協議会の開催に当たっては、事前に狭山市公式ホームページなどで開催を案内し、協議会は公開とし、かつ資料や議事録も公開してきた。今後も既存の公共交通を維持・確保していくためにモビリティーマネジメントの実施が重要となると考えており積極的な情報提供を図っていく。

